

大阪南部高速道路の早期事業化を強く求める決議

本市は大阪府内でも高速道路網から最も遠い地域の一つである。市中心部から最寄りのインターチェンジまでは概ね30分を要する高速道路の空白地帯であり、この地理的不利は、長年にわたり企業立地の障壁となり、地域経済の発展を大きく阻害してきた。

さらに、本市は南海トラフ地震をはじめとする大規模災害の発生時、自衛隊・消防・警察等の後方支援拠点となる重要な役割を担っており、被災地への物資輸送・人員派遣を迅速かつ確実に実施するためには、南北軸を貫く高速道路ネットワークの整備が不可欠である。

これらの課題解決に直結する大阪南部高速道路の整備は、単なる交通インフラの整備にとどまらない、南河内地域をはじめ南大阪全体の未来を切り拓く「戦略的基盤整備」である。この整備により、物流の効率化や産業集積地との連携強化はもとより、新たな企業誘致の促進と地域雇用の創出にも大きく寄与することが期待され、災害時には「命をつなぐ道路」としての意義も極めて大きい。

加えて、南河内・泉州・紀北地域に広がる豊富な観光資源を生かした広域道路ネットワークの形成は、交流人口の増加、観光振興のみならず、防災・減災、さらには国土強靱化の推進に資する極めて重要な事業である。

これまで大阪府は「北高南低」と言われてきた。経済・交通・産業などの各分野で北部に偏重した構造を是正し、大阪全体の均衡ある発展を実現していくためには、大阪南部地域の飛躍的な成長が不可欠であり、大阪南部高速道路の実現は、その象徴となる事業である。

よって、本市議会は、大阪府および国に対し、「大阪南部高速道路」の早期事業化を強く求める。

以上、決議する。

令和7年12月19日

河内長野市議会